

【平成23年度 教育事業一覧表】

事業名	事業の趣旨	期間	対象	募集人数(人)
漁家体験シリーズ～食文化の伝承～ ①へしこ作り ②なれずし作り	・若狭地方の伝統的スローフードを通して食文化についての理解を深めるとともに、漁家の生活を体験し、交流を図る。 ・地元ならではの食文化の大切さを発進しながら、他施設との連携を図るとともに合同事業としての事業展開を想定したプログラムの企画・運営のノウハウを伝達をする。	①4.24(土)～4.25(日) (1泊2日) ②11.5(土)～11.6(日) (1泊2日)	①②子どもを含む家族 その他希望者	①50 ②50
ボランティア養成セミナー	・青少年野外教育施設等でのボランティア活動の役割について理解を深めるとともに、ボランティア活動に対する意欲を高める。また、当施設でのボランティア活動に必要な知識や技能を習得する。 ・ボランティアに必要な知識や技能、ボランティア養成に関わる研修会のノウハウについて、公立施設等に発信していく。 ・公立施設でも活躍できるボランティアの育成を目指す。	5.3(火)～5.5(木) (2泊3日)	高校生・高等専門学校生・専修学校生・各種学校生・大学生・社会人	30
海の冒険シリーズ ① キッズ 海のたんけんたい ② 若狭湾 海の自然学校 ③ キッズ同窓会 ④ 自然学校同窓会	・若狭湾の自然の中での体験活動を通して、意欲の向上や自主・自律の精神を養いながら、意欲の向上と人間関係の育成を目指す。 ・発達段階に応じた海プログラムの組み立て手法や安全管理手法を確立し、他施設での活用に役立てる。	①7.23(土)～7.25(月) (2泊3日) ②8.20(土)～8.28(日) (8泊9日) ③12.10(土)～12.11(日) (1泊2日) ④2.4(土)～2.5(日) (1泊2日)	①③小学1・2・3年生 ②④小学4・5・6年生	①24 ②20 ③40 ④40
不登校児童生徒支援事業	・課題を抱える児童・生徒が、若狭湾の雄大な自然の中で心身をリフレッシュするとともに、参加者同士や参加者とボランティアの交流を図り、チャレンジしようとする意欲を高める。 ・課題を抱える児童・生徒が自然体験活動を通して、より良い効果を得られるようなプログラム開発を行い、近隣青少年教育施設・教育委員会・学校等にプログラムの提供及び発信をしていく。	9.17(土)～9.17(月) (2泊3日)	小学生・中学生	
自然体験活動指導者養成研修会	・「小学校の1週間の自然体験活動」において、教育効果の高い自然体験・生活体験活動の機会を提供するために、プログラム計画立案の助言、活動時の全体指導や活動の様子把握と助言、事業評価の助言などを行う指導者を養成する。 ・自然体験活動指導に必要な知識や技能、及び研修会のノウハウについて、公立施設等に発信していく。	9.22(木)～9.25(日) (3泊4日)	青少年教育関係者、学校教育関係者、その他自然体験活動に興味・関心ある者で、小学校の長期自然体験活動の全体指導者(20歳以上)または補助指導者(18歳以上)として活動・協力する意思のある者(20歳以上であれば学生でも可<全体指導者>)	65
わくわく体験塾	・若狭地域の歴史・文化等を知り、そのすばらしさに気づく。 ・海の活動を通して、海のすばらしさや環境について学ぶ。 ・近隣の施設の特徴を生かしながら、若狭地域における魅力的なプログラムを構築する。 ・近隣施設を通じて、連携先の拡充を図っていく。 ・ボランティア交流を図り、地元のジュニアリーダーの育成をする。	10.9(土)～10.11(月) (2泊3日)	小学4年生～中学生	25
交流は海を越えて(日韓環境交流事業)～南ソウル大との連携から～	・韓国学生と日本の学生・市民がディスカッション、フィールドワーク、文化紹介等を通して環境問題とお互いの文化についての理解を深める。フィールドワークは日本海沿岸を自転車により北上しながら、対馬海流によって大陸から流されてきた漂着ゴミの回収を中心とした海浜清掃作業を各地にて行う。 ・交流を通して、日韓のそれぞれの文化や歴史について見聞を深めるとともに、次世代への交流の輪を広げる機会とする。	6.22(水)～7.2(土) (10泊11日)	南ソウル大学 学生 日本の学生	30
海の活動が子どもたちに与える教育的効果に関する研究 「より楽しく効果的な海の活動をめざして」	・スノーケリングを中心とする海の活動が青少年の体験活動においてどのような教育的効果をもたらすのかについて調査し、より効果を高める海の活動プログラムを開発する。 ・検証結果については水辺活動実施施設に発信し、活用されることをねらう。	通年	直接指導の参加者	
「課題を抱える子どもの体験活動に関する調査研究」 【中部・北陸ブロック5施設(能登・乗鞍・立山・若狭湾・妙高)連携】	・5教育拠点で行う「課題を抱える子どもの体験活動に関する調査研究」事業を対象に、青少年の各年齢期における体験活動において「人間関係能力を高める教育プログラム」を開発する。体験活動の効果測定する検証方法を確立し、その教育プログラムの有効性を検証する。	通年	対象事業への参加者	